「第４次アクションプラン 全国の農業高校の新戦略グローカル・アグリハイスクール宣言PartⅡ」

令和５・６・７・８年度 福岡県立農業高校スクールアクションプラン「田川科学技術高等学校 版」

2023/7/7

令和４年度 福岡県農業・水産高等学校長会 第１研究委員会作成

第４次アクションプラン 全国の農業高校の新戦略 グローカル・アグリハイスクール宣言PartⅡ				自校のスクールアクションプラン					
農業高校のミッション（目指す学校像）	行動計画（目指す学校像の具現化に向けて）		キーワード（該当ワードを○で囲む）	学科名	本年度重点取組	具体的方策（５W１H明記、数値目標奨励(年度末ABCDE評価の根拠)）	SDGs目標NO.	評価(ABCDE)	次年度の主な課題
農業高校 グローカル アグリハイスクール宣言 ○○○○○ 地地地地グ 域域域域ロ 防交環社ー 災流境会カ をのを・ル 推拠守産教 進点り業育 すと創にで るな造寄人 学るす与材 校学るすを 育学るす てる校 学校	1	生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育	アグリマイスター顕彰、進路実現、高大連携、プロジェクト学習、STEM教育、インクルーシブ教育	農業食品	プロジェクト学習の充実	課題研究を中心に各教科・科目において、課題を設定、計画的に実施し、問題解決能力を高め、発表の場を設けることでプレゼンテーション能力を向上させていく。	4		
				農業食品	インターンシップの実施	近隣企業と連携し、就業体験を通して地域の産業を知り、職業観・勤労観を養い、進路意識の醸成を図る。	8		
	2	世界と日本をつなぐグローカル教育	グローカル教育、国際交流	農業食品	ふるさと田川を世界に発信	学校設定科目「産業入門」で、田川の歴史と文化、産業について学ばせ、イベントへの参加や地域交流の様子など田川の良さをホームページ等で発信する。ふるさと田川をＰＲする事で郷土愛を育ませ、地域を担う人材の育成を図る。	4･11		
	3	地域農業の生産を支える教育	生物生産、特産物、GAP、経営	農業食品	ＧＡＰ教育の推進	ＧＡＰ教育を通して、「食品安全」、「環境保全」、「労働安全」等の持続可能性を確保するための生産工程管理を身に付けることで、ＧＡＰ認証の継続と地域農業を活性化させる。	12・13		
				農業食品	農業後継者の育成	地域で活躍している農業者を講師とした「就農講座」を実施し、地域農業の魅力や可能性を身近に感じることで、就農への意識の醸成と農業後継者の育成を図る。	8		
	4	地域の農業関連産業や６次産業化に寄与する教育	地域貢献、６次産業化、食農教育、経営、HACCP	農業食品	地域の特産物開発	特産物の開発として、自治体と連携し、オリーブの生産技術の確立と生産物を利用した食品製造・販売を実施する。また成果を地域に向けて発信し、地域産業の活性化へ繋げていく。	12		
	5	地域環境を守り、創造する教育	環境創造、国土保全、循環型農業、循環型社会	農業食品	地域の環境美化活動	栽培した草花の寄せ植えプランターを地域に配布・設置することで地域環境を整備し、また、ボランティア活動として定期的に校外のゴミ拾いを実施し、環境美化に努めることで地域環境を守る。	3・11		
				農業食品	規格外野菜の利用法の開発	科目「課題研究」において、地域から廃棄される規格外野菜を回収し、グミなど新商品を開発することで、廃棄野菜を減らし、地域に貢献する。	12		
	6	地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育	地域資源活用、特産物、地域交流、食農教育	農業食品	公開講座	学科・専攻の特色を生かした「親と子のものづくり教室」を開催し、校内で生産した農産物を食材とした調理実習や体験活動を通して地域住民や子ども達との交流を深める。	4･9		
				農業食品	地域イベントへの参加	「TAGAWAコールマイン・フェスティバル～炭坑節まつり～」など地域の催しに参加し、農産物やパンなど販売実習を行うことで、接客マナーを身に付け、成就感や達成感の醸成を図る。	3･11		
	7	Society5.0の時代に応じた教育	スマート農業、ICTを用いた学習	農業食品	ＩＣＴを用いた学習と評価	タブレットを活用した教材・教具・利用方法の開発を進め、わかりやすい授業の展開を探求し、魅力ある農業を伝えていく。評価において、生徒の振り返りと教員の授業改善に役立つフォーマットを構築していく。	4･9		
	8	地域防災を推進する教育	地域防災、多面的機能	農業食品	防災避難訓練	防災避難訓練を実施し、災害時における危険を認識させ、日常的な備えを行う大切さを理解させる。校外での災害発生においても状況に応じて、的確に判断し、自らの安全を確保するとともに地域や周りの人々と協力して、地域の安全に貢献する態度を身に付ける。	11		